

# 専念寺通信

1 2月号 (NO.148)

<http://sennenji.s296.xrea.com/>



短い秋のあと、一年の最後の年、師走がやってきました。師走に入ってすぐに大きな地震、きびしい寒気と、波乱含みの年の瀬です。皆さま、おかわりなくお過ごしでいらっしゃいますか？今年最後の通信をお送りします。

## ☆花梨と銀杏

今年は、早い時期から銀杏の実が落ち始め、毎朝ひろっては洗い、お日様にあてていました。けれど、実はぽつぽつとしか落ちず、イチョウの葉は今年はいつまでも青々としていて、12月に入ってようやく黄色い色に変わり始めました。かなりの老樹ですが、すくすくと伸びて、みごとな緑と、夏には気持のよい木陰を私たちに与えてくれましたが、新宿区のほかのイチョウより紅葉が遅いようです。落ちてくる銀杏はあまり増えません。恒例のお守りを作ろうと待ち構えていた私共はちょっと拍子抜けしています。12月はじめで、銀杏はまだ30粒くらいです。もっとも豊作だった3年まえには500粒くらいはありました。

中庭に花梨の樹があります。こちらは夏からぐんぐん枝が伸び、たわわに花梨の実をつけていきました。師走に入って、大きな策に5杯くらいはとれました。毎日、熟した花梨がどすん、どすんと庭に落ちます。実を食べに鳥もやって来ます。こちらは今年は大豊作、といったところです。

花梨は、お参りにいらした檀家さまに差し上げています。銀杏

も、あきらめずにお正月には少しでも、恒例のお守りにしたいと思っております。

## ☆選挙

12月には衆議院議員選挙と都知事選挙があります。今回の選挙は、争点が多く、そのひとつひとつが国の将来を左右する重大なものです。原子力発電所をどうするのか、憲法九条をどうするのか、税金をあげるのか、どれをとっても、私たち国民の生活に直結することばかりです。新聞に、選挙についての次のような発言が採用されていました。政治家は、いわば新人社員で、私たち国民は、人事担当責任者なのだ、と思おう、というものです。日本という国をひとつの組織に見立てた意見ですが、私たちの国で私たちのために働いてくれる人を私たちが「選ぶ」のだ、ときちんと自覚してしっかりした目で見きわめることは大切だと思います。もし、あなたが小さな組織の責任者で、新しくスタッフがかわるとして、そのスタッフは誰でもいい、勝手に決めてくれ、興味ないよ、と思いますか。自分の望まない人が採用されたら被害に合うのはあなた自身です。選挙という権利をしっかりと使いましょう。投げやりにならずに、「前と同じでいい」や「誰それさんに頼まれたから」などの理由で決めるのはやめましょう。私たちの子供や孫の世代に、平和で穏やかな暮らしやすい国を残しましょう。

新しい年が皆さまにとって良い一年になりますように。

平成24年12月1日

大黒

